

CASE
07

河川災害復旧工事

工事内容：KPブロック※背面に残存型枠(KCフォーム)を使用

※省力型間知ブロック

残存型枠の採用理由

KPブロック 750 サイズの現場にてRがきつくブロックの前面背面を現場打ちで対応する事になったが、背面側の裏型枠が大きくなり抜けなくなるためKCフォーム 450 用を残存型枠として使用。

製品名：KCフォーム(450用)
 工事名：糸白見川河川災害復旧工事
 (30年災117号及び118号)
 発注者：鳥取県八頭県土整備局
 担当営業所：鳥取営業所

施工写真



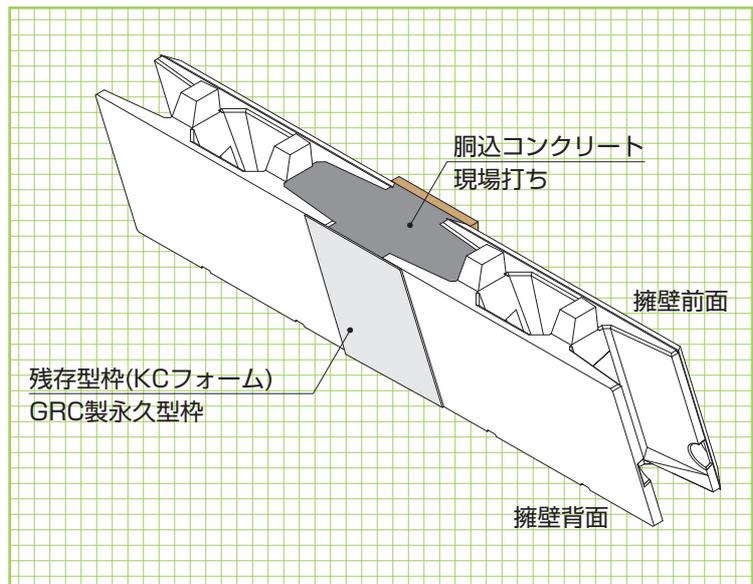
KCフォームとは

素材に GRC(耐アルカリ性ガラス繊維補強コンクリート)を使用している薄板です。

高い曲げ強度と剛性を持っており、またダイヤモンドカッターによる現場加工も容易です。



イメージ図



注意

- 施工に不備があると、損傷などの原因となることもあります。不明な点は弊社または販売代理店にご相談ください。
- 特殊な条件で使用される場合には、事前に弊社の担当者にご相談の上、技術的な確認を行ってください。

インフラテック株式会社

本社

〒890-0062 鹿児島市与次郎2-7-25
 Tel.099(252)9911 Fax.099(259)4100
<http://www.infratec.co.jp/>